

2025 年 7 月 25 日 第 1 版

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院 集中治療部

記

研究の名称	ICU 入室した院内急変患者に対する rapid response team（ラピッドレスポンスチーム）の介入効果
対象	2015 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの期間に JIPAD（Japan Intensive care Patient Database、日本 ICU 患者データベース）にデータ登録され、年齢が 16 歳以上 100 歳未満であり、病棟から ICU に緊急入室した患者さんを対象とします。対象症例数は 50000 人を予定しています。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 9 月 10 日） ～ 2030 年 12 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：rapid response team（以下 RRT）は院内の重症患者を迅速に察知して ICU 入室を促すことにより、心停止などの重篤なイベント発生率を減少させる取り組みです。諸外国では RRT 導入により院内心停止の数が減少すると報告されており、本邦でも近年集中治療学会より RRT の運営指針が提起されました。本研究の目的は RRT 介入が ICU 入室する重症患者の予後に寄与するかを、本邦の患者を対象に検討するものです。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2025 年 9 月 10 日）</p>

利用し、又は提供する 試料・情報の項目	試料：なし 情報：検査データ、診療記録等
利益相反について	<p> 本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。 </p>
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学病院 集中治療部 部長 梅垣 修	
参加拒否の申し出について データベースJIPAD上で、すでに個人情報情報は判別できないように加工されております。このため参加拒否の申し出を受理すること、また、研究の対象から削除することはできかねますので、予めご了承ください。	
問い合わせ窓口 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科薬科大学病院 集中治療部 担当者 日下 裕介 連絡先 072-683-1221（代） PHS 58543	

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学病院 集中治療部
研究責任者 梅垣 修 殿

研究の名称	ICU 入室した院内急変患者に対する rapid response team (ラピッドレスポンスチーム) の介入効果
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名 (自署)

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者 (続柄 :)

住所

氏名 (自署)